

第23期第1回 地域農林経済学会常任理事会議事録

日 時：2021年1月30日（土） 15：00～17：00

場 所：Zoomを用いてオンライン開催

議 長：足立芳宏

記 録：高田晋史

出席者：秋津元輝、浅見淳之、足立芳宏、大仲克俊、河村律子、北川太一、鬼頭弥生、清原昭子、草処基、関根佳恵、高田晋史、辻村英之、中塚雅也、南石晃明、西村武司、野中章久、堀田学、増田忠義、松下秀介、Keshav Lall Maharjan、三浦憲、武藤幸雄、矢倉研二郎、山下良平（以上24名、五十音順）

- 1 議長選出：議長に足立芳宏氏が選出された。
- 2 会長挨拶：浅見会長より就任の挨拶がなされた。

議事

(1) 新執行体制について

北川会長より会長指名理事および監事について提案があり、その旨承認された。

(理事) 関根佳恵、中塚雅也、野中章久、三浦憲

(監事) 浦出俊和、岸本裕一

これを受けて、第23期常任理事会の執行体制について、以下の通り報告があった。

【新常任理事】(○印は責任者)

会 長 浅見 淳之

副会長(組織・広報担当) 秋津 元輝

副会長(学会賞担当) 南石 晃明

企 画 ○松下 秀介、西村 武司、草処 基、山下 良平

庶 務 ○足立 芳宏、鬼頭 弥生、高田 晋史

会 計 ○山口 道利、大仲 克俊

編 集 ○矢倉 研二郎、中塚 雅也、清原 昭子、野中 章久、三浦 憲
藤本 高志、中村 貴子、坂梨 健太(常任編集委員)

組織・広報 ○堀田 学、辻村 英之

国際化(会長直轄) ○Keshav Lall Maharjan、増田忠義、関根佳恵

監 事 岸本 裕一、浦出 俊和

(2) 学会賞選考委員の選出について

南石副会長より学会賞選考委員の選出の現状について報告があった。

(3) 次期大会のあり方について

次回開催について会長より経緯の説明があり、現状ではオンライン開催を前提として実施することで提案され承認された。オンライン開催にあたっては、開催校はなしとなり、代わりに松下企画担当理事

を責任者としたプロジェクトチームを組織することが決まった。

(4) 理事会・総会の議事録署名欄の確認

鬼頭庶務担当理事より、2020年度理事会、同総会の議事録について報告があり、承認された。

(5) 年間スケジュールの確認について

第23期の年間スケジュールについて、高田庶務担当理事より説明があり、内容を確定した。

なお常任理事会の日程は、第2・3回：4月18日(日)、第4回：9月25日(土)となり、第71回大会の開催日は10月30日(土)・31日(日)となった。

(6) 2020年度大会の結果について

・大会受付者数(庶務)

鬼頭庶務担当理事より、大会登録者数等の報告がなされた。

・大会シンポジウムおよび個別報告について(企画)

山下企画担当理事より、個別報告における受付方法などの課題について報告がなされた。

・国際ワークショップ、国際ミニ・シンポジウムについて(国際化)

Maharjan国際化担当理事より、国際ワークショップ国際ミニ・シンポジウムについての実施状況について報告がなされた。

・大会決算報告について(会計)

大仲会計担当理事よりオンライン開催により、今年度は支出が削減されたことで黒字会計になったことが報告された。

(7) 引き継ぎ事項と今後の課題について

1) 組織・広報

堀田組織・広報担当理事より、会員の入退会について報告があり(新規入会者3名、退会者25名)、続いて今後の課題として、①賛助会員への対応、②メール配信・管理体制、③シニア会員・終身会員、④会員種別の見直し、⑤支部代表者会議のあり方、⑥広報・広告(協賛団体)対応、について説明がなされた。また、HPの更新についても検討していくこととなった。

2) 企画

企画担当理事より今後の課題として、①個別報告会場の参加者数のカウント方法、②個別報告で用いるプレゼン用ファイルの扱い、について説明がなされた。

3) 会計

オンライン開催にあたり大会参加費を徴収するかどうかは次回の理事会で決定することとなった。そのため、必要に応じて事前に庶務担当理事、企画担当理事を交えて議論することとなった。

4) 編集

矢倉編集担当理事より、①編集委員の選任、②掲載論文転載許可申請、③「機関レポジトリへの論文登録に関する本誌のポリシー」作成について説明がなされた。①研究論文の投稿促進、②査読期間の短縮、③「研究資料」の位置付け、④編集委員会のあり方、などについての課題が報告された。「機関レポジトリへの論文登録に関する本誌のポリシー」については提案通り承認された。

5) 国際化

Maharjan国際化担当理事より、22期の活動内容、および本年度の活動計画、国際化について説明がなされた。今後の課題としては、参加者の範囲拡大、英語による情報発信、国際ジャーナルへの投稿や

旅費補助などが議論され、報告者への補助については、会計担当理事と相談して対応することとなった。

6)庶務

鬼頭庶務担当理事より今期の課題として、①会員名簿の作成、②オンライン大会・会議の持ち方、③ Zoom アカウント、④ e-naf の常任理事への管理権限付与、について説明がなされた。

また、今後は理事会・総会の議事録署名人を廃止することが承認された。

(8) 学会誌編集状況について（編集）

矢倉編集担当理事より、学会誌の編集状況、および23期の編集体制について報告がなされた。

(9) 2021 年度大会に向けて

松下企画担当理事より今後検討していく予定との説明があり、必要に応じて4月までに臨時常任理事会議に相当するミーティングを開催し検討することとなった。

最後に、秋津副会長より挨拶があり閉会した。

以上